

★話題のひろば<1>

森 繁 久 弥 ふるさと公演

<屋根の上のヴァイオリン弾き
神戸公演より>



生田神社会館で開かれた森繁の歓迎会の上は全員で唱う SUNRISE SUNSET。下は会場風景。
下右はふるさとへ帰った森繁。右横はカーテンコールの舞台

「もうこの舞台上で私は死んでいいと思います……。」

ミュージカル「屋根の上のヴァイオリン弾き」の神戸公演は、五月二十一日二十二日と三ステージが神戸文化ホール自主公演として上演され、当り芸の主演森繁久弥は、ふるさと神戸に錦を飾り、全力投球で、素晴らしい人間味あふれるテヴィエ役を唄い踊り、その役にとけこんだ自然な演技で観客を圧倒。チームワークのとれた舞台上に客席のアンコールは続き、カーテンコール七回という神戸文化ホール始まって以来の興奮の渦をまき起し「死んでもいい」とあいさつする森繁にプラボーと花吹雪が飛んだ。

ワキの淀かほる、上月晃、大原ますみなど宝塚出身者も多く、神戸公演の前夜祭には神戸文化ホール松井一郎館長の肝入りで「ふるさとへ帰った森繁久弥の歓迎会」が二十日生田神社会館4F大ホールで開かれた。北野中学同窓生との交歓や、次々と主題歌や十八番が披露されたり、益田喜頓、谷啓、倍賞千恵子、安田伸、友竹正則さんらも交えてのなごやかな集い。松井館長は「名古屋公演から神戸公演と意欲に燃えた森繁さんの舞台は、良いものを持ってくれば市民はほんとに喜んでくれると確信しました」と感無量の言葉だった。

★話題のひろば<2>

トータルな ライフスタイルを

<ヤマハ神戸センターオープン>



左 テープカットは田中利夫支店長。右上 スペースゆったりの家具売場。右中 放送局顔まけのミキシングルーム。下 約300名を招いてオープニングセレモニー。

——ホテルみたいノと思わず口に出るほどスペースをゆったりと使った家具売場とスタジオ——。

豊かな暮しのためにトータルなライフ・スタイルを提供するヤマハ、日本楽器製造㈱(本社・浜松市、川上源一社長)が暮合区浜辺通、商工貿易センタービル西側に「ヤマハ神戸センター」を設立。

六月五日午前十一時に日本楽器神戸支店田中利夫支店長のテープカットにより、市・県関係者、ヤマハ特約店関係者、報道関係者、家具業界、一般顧客など約三百名を招いてオープン。

同センターは、ピアノ造り八十年の木工技術を生かしてのヤマハ家具・ホーム用品の「家具ショッブ」とレベルの高い生徒を集めた「音楽教室」を中心に三百人収容できるホール、完全防音の貸しスタジオ、レコード・楽書など約五千点を所蔵するライブラリー、ヤマハのレジャー施設のインフォメーションを備えている。

三宮からポートアイランドへ通じるファッションストリート。近い将来ファッション都市神戸の中核として発展するこの通りに誕生したこの総合センター。「地域のコミュニケーションの場にした」と語る田中支店長のとおり、新しい神戸の街づくりに一役任うことだろ。

★神戸の集いから

★「国立国際美術館」スタッフ
フ着任歓迎の集いひろく
万博美術館の活用をめぐ
つて、国立美術館の誘致や
陳情を熱心に行った故吉原
治良画伯や村松寛、木村重
信、前田藤四郎といった人
たちの努力がみのって、そ
の名も「国立国際美術館」
の設置が決まり、来秋オー
ブンをめざして本間正義館
長はじめスタッフが着任さ
れた。そこで地元在住文化
人が今後スタッフとの協力
関係をより密にしようと歡
迎の集いが、6月5日(土)



本間正義館長を迎えて村松寛さんのあいさつ

午後4時半から7時まで小
原流家元会館で賑やかにひ
られた。乾由明、小原豊
雲、小磯良平、田中健三、
津高和一、竹中郁、下村良
之介といった人たちも顔を
見せ和やかな集いであつ
た。

★それゆけモウさん

神戸新聞の笑点を七千回



小山乃里子の司会でタイトル画の進行/二人で唄う隈田川/＜田辺/高橋さん＞

描き続けたマンガ家の高橋
孟さんが独立。乳離れを
したもうさんをサカナに飲
む会が、作家の田辺聖

子、川野純夫妻の肝入り
で、5月27日ニューポート
ホテル3Fのホールに、百
人近い友人、ジャーナリス
トが集って開かれた。司会
の小山乃里子によれば「最
初はパーティ風、後はどう
いうわけか宴会になってし
もた」という程ニギニギし
く、もうさんが、カモカの
おっちゃんか、だれが主役
かわからへんというハゲマ
シぶり。鴨居羊子、イーデ
ス・ハンソン、末広真樹子、
望月美佐、中西勝、元永定
正、畑専一郎、松井高男、
重森守、竹田洋太郎さんら
に、東京からの出版社関係
の人々も、神戸風に染まっ
てしまった集いだった。

★NHK神戸支局編

兵庫史探訪出版記念会

地味な番組ながら大変フ
ァンの多かったNHK神戸
放送局のテレビローカル番
組「兵庫史探訪」が、この
ほど日本放送出版協会より
出版され(一、〇〇〇円)、



杜山悠さんのセリ市

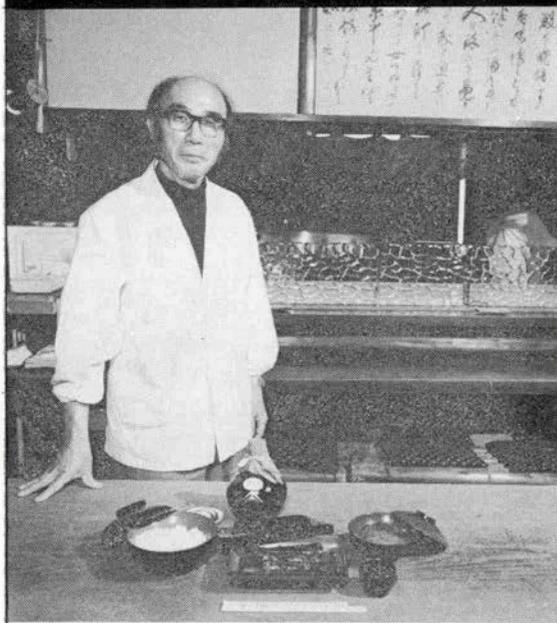


白井鐵造さんを囲んだNHKスタッフ

6月15日午後六時より、兵
庫県民会館十二階ホールで
出版記念会が開かれた。

番組担当のプロデューサ
一原性宣、藤野泰和、飯
塚清之、四方田千尋、上野
博之、三好勝徳、竹内冬郎、
アナは吉沢絃、脇孝之、カ
メラは高野武司、大内晶、
小竹則靖、石川猛さんらに
主なゲストスタッフ、杜山
悠さんや、吉田智朗、春木
一夫、荒尾親成、白井鐵造、
武田芳一、畑専一郎さんら
も加わっての集い。藤原純
友から阪神大水害まで兵庫
の庶民史を通じての地元人
との対話のひとつきだつ
た。

夏はやっぱり鰻だよ〈糸平〉



●小鼓と神戸の有名店シリーズⅢ うなぎの糸平〈三宮神社東〉
 「夏バテにいちばん」という鰻とつきあって30年余、
 水墨画のバリ個展をひかえたある日の当屋の主、鎌田
 糸平氏。「白焼百べん言うてね……」と、ご自慢の蒲焼
 きの話に熱が入る。もちろん美酒「小鼓」も通の味。
 小鼓は神戸ではそごう百貨店にて販売しています。1,8㍀入1330円。風趣ある
 立梳焼の徳利入も、お土産に最適です。女性のためにマロンリキュールも
 発売中。夏は冷やしておめし上り下さい。

丹波の地酒 美酒「小鼓」

西山酒造場

氷上郡市島町中竹田1171

☎07958(6)0332

通信販売もいたします。お気軽にお問い合わせください。

暑中お見舞申し上げます。



今年も、ユーハイム・コンフェクトの冷菓をよろしく

北 欧 の 銘 菓
ユーハイム・コンフェクト

■本社・工場・熊内店 神戸市灘合区熊内町1-8(南蛮美術館東隣) TEL.221-1164
 ■三宮センター店・さんちか店・大丸・そごう・阪急・三越・神戸アパルト・元町店

おすし
 てんぷら



崇
 彌



本店 大丸前・三宮神社東
 TEL(331)5773
 (毎週水曜日休み)
 支店 さんちか味ののれん街
 TEL(391)5233
 (第3水曜日休み)

営業時間
 A.M.11.30~P.M.9.00

親子相談の窓口から

橋本 明

△社団法人「家庭養育促進協会」事務局長▽

神戸市兵庫区の平野交差点の少し南、家庭裁判所のひとつ山側の路地を西に入った所に「神戸心療親子研究室」と書かれた小さな表札が出ている。よく気をつけていないと気がつかないほど、ごくふつうのありきたりの住宅である。住宅というより長屋の一棟といった方がいいかもしれない。中には小さな部屋が二つ、三つあり、台所の流し台や本箱、ソファア、それに壁には絵画もかけてある。このこじんまりした部屋が、昨年七月に伊藤友宣(40)さんが開設した「神戸心療親子研究室」という民間

の相談室である。看板はすこぶるいかめしい名前だが、雰囲気は大変アット・ホームで、公立の相談機関にみられるような殺風景な感じはここにはない。伊藤さんは以前、自分自身で子どもを引きとって育てたこともあり、長い間里親運動にたづさわり、さまざまな親子関係や家族の姿を身近に見、その相談にのってきたことがあり、それらの経験を基礎にこの相談室を開いた。

「自分のこと、子どものこと、家の中のいろいろなこと、これからのことなど、もやもやさせたまま、いわばどうしようもなくなるまま、胃など悪くさせないで、とにかくいまいちど口に出して話してみると、思いがけない発見があるもの。もちろんわずらわしい気がねなしに、ただ自分の気持を確かめるための話し相手がもしあれば、の話……」と相談室開設の理由を伊藤さんはこうパンフレットに書いている。

この部屋で相談を受けるのは一週間のうち木曜と金曜(朝10時～夜10時)と毎月第二土曜と日曜及び第四土曜と日曜(昼1時～夕7時)で他の日はいろいろなところへ出向いて行って相談に応じている。



「世の中には孤独な人が多いんですね」と語る伊藤友宣さん

この七月で開設以来ちょうど一年になる。もちろんこれら相談はやはり子どもに関する問題が多く、学校への不
適応、登校拒否なども少なからずある。他には思春期の
ころに社会不適応で悩んでいる青少年や夫婦関係の問題
でゆきづまっている夫婦なども訪れてくる。また病院の
精神科で治療を受けているが、投薬だけでは他人との関
係が築けず、話し相手を求めてくる人もあれば、緊急の
かけ込み相談も何件があった。またここまで出かけて来
られない人や来たくない人からの電話だけによる相談も
多い。

「一日に四、五人も聞ければいいですね。多い時は七、
八人もたてつづけに来られたことがあって、小さな部屋
で私一人では応待しきれなくて外で待っててもらったこ
ともありました。あまり多いと仕事が終わる頃にはこっ
ちがフリーズとしてしんどくなってしまうですね。今は毎週
来る人が二、三人、週に二回ぐらいは夜に訪問にいきま
すし、日曜日にくる人が二人ほどありますかね」

「離婚の問題にしろ、家族関係の問題にしろ、ここへ相
談に来る方はしっかりしてますね。ダメになった本人
はこない。子どもがダメなら親が来るし、親がダメなら
子どもがくる(笑)」

ところでここは公機関でなく、伊藤さん個人の私設の
相談室なので、相談は有料である。

相談料の一応の目安として、

一級 暮しに行きづまり、させしまった問題をかかえて
いるひとがかけ込む。無料。

二級 暮しにほとんどゆとりがなくて、しかも話してみ
たい問題のあるひと。三〇〇円くらい。

三級 暮しがごく普通のひとで、相談してみてもよかつた
とお思ひのひと。七〇〇円くらい。

四級 暮しにわりあいゆとりがあって相談しにきてよかつた
とお思ひのひと。二〇〇〇円くらい。

五級 金はだせる、とにかく相談ののってほしい、とさ
せさせているひと。五〇〇〇円くらい。

その他 相談して別に役に立たなかったが、研究室は存
在理由あり、支援しよう。任意。

「この相談料の目安はいらした時のまぎらしのお茶
代、映画代、パチンコ代、ドライブ代、要らぬ買物、お
酒代などを思ってみると無茶ではない筈です」として、
相談料は各自が自分で決めることになっている。

わが国では福祉や教育、その他相談の仕事というのは
ほとんどお役所にまかされており、民間の相談機関とい
うのは数が少ない。したがって相談というものはタダで
ある、といった感覚が日本人には定着しており、金を払
って相談ののってもらおうということには抵抗を感じる人
も多いはずである。したがって相談料だけで生活を支え
ていくことは今のところ大変難しいようである。

この一年をふり返って伊藤さんは、
「一人ぼっちの人が案外多いんですね、ここにも全くの
天涯孤独の人が何人か来られました。今は月に二回ほど
大学生や社会人などのグループがここに集まって読書会
をし、いろんなことを話し合ってるんです。今後はもつ
と家庭の主婦の集いや高校生の集いを自然発生的につく
りたいですね。」その人だったら安心して話ができる。

「町中にはできるいろんな種類の相談機関が数多
くある方がいい。そして、ちょっと話がしたい、相談に
のってほしいと思う時、自分のかかえている問題や性質
によって、自分に合った相談機関を選択できるというこ
とは大切な事だし、市民にとってもプラスになる。」

伊藤さんのような個人による、あるいは民間団体など
による相談の窓口がもっとあっていいし、それぞれの機
能を生かして市民生活に密着した役割をもっと果たして
もらいたいものである。

「神戸心療製子研究室」

神戸市兵庫区下三条町七九 TEL (〇七八) 五三一三六六〇



私の気まぐれ日記より①

篠原 順子 △子供服デザイナー△

先日来より、会社の行き帰り道、車の中から目をつけておいた絵本屋さんに行ってみた。横目でチラ、と眺めるたびに、「若草物語に出て来るような雑貨屋さんがあるよ」と仲間に話していたのが、やっと足を運ぶにいたった。布引の森を背に、真赤の小さなテントを張り出し、しぶいセピアの格子の棧と出窓、子供のための本のブチックと看板があり、店内には、一人のナイーブな青年が本の荷解きをしていた。それはもう、うれしくなるような懐かし気な、きれいな可愛い絵本達でいっぱい。神戸ではこんなお店がどんどん増えてほしいものだ。さっそく近くのティールームに入って、コーヒーを飲みながら、買ったばかりの絵本を眺めて喜んだ。束の間ささやかな安らぎである。

三月頃だったっけ、絵本原画展の最終日に、雨の降る

のに、西宮の大谷美術館まで出かけた。ひっそり雨の中素材に語りかけ絵との対話……なあって、ちよっと、キザなことを、チラリと考えながら駆けてつけると、何と、王子公園のキップ売り場の如く、子供連れのお母さん方がいっぱい、子供は走り回り、「○○ちゃん」と呼んでいる声が、にぎやかに、古典的な美術館との異常な、不協和音を奏でていた。すごい人がぞろぞろ順に並んで觀賞しているのである。口々にしゃべりながら、「○○君、よく見てごらん、この色の具合、こんな風に描くとエエね、この色の具合、ほんまに上手いこと描いているわ——」。子供はあまり観てない感じ。それよりお母さんの方が熱心である。私も順に回って少しくたびれた。何故か主婦は（私も主婦なのだが）大勢人がいる所では声が大きいように思える。そしてひっそりボソボソと話しているのは、おおかたにおいて青年であるような気がする。ふと、そんな妙なことを考えながら再び雨の中を帰ったのである。それでも、私の好きな絵がたくさんあったのでほのぼのとした気分になった。

いつもながら時間が無いとブツブツいっていますが、特にこの頃、一日二十四時間が早いと思う。二十四時間がちゃんと正味二十四時間有るのかしら？ なんて本気で考えたりします。会社では、来年の春物の企画や、デザインをしているのですが、常に半年先のことを考えているので、余計、そう思うようです。もう夏が済んだような気がするのです。それにしてもあまり変化のみられなかった秋冬に比べて、久しぶりに77年春物から傾向は、きれいな色、楽しい色の組合せ、酸味のあるさわやかな色がひしめき合って、楽しいファッションになりそうです。

子供服は、ますます都会的な、静かな色、例えば、ニュートラルな色、グレイ、砂色、オフホワイト等、またレモンイエロー、ピンク、涼し気なミントグリーン等、洗練されたフォークロア調や、小粋でナチュラルのや、

素朴な自然志向なのやら、e.t.cである。デザインは着手の個性を重視することからの発想でなくてはならないと思う。服が主役なんてのは、つまらないと思う。どんな服を着ても服は脇役でしかない人は素晴らしい。それはシンプルで、デテイルは80%までの未完成の服であることが、ポイントではないかと思う。残る20%は着る側の（子供服の場合は主に母親）が、スカーフやベルト、バッグやベスト等の小物を加えることによって、自分らしい個性が表現でき、他との差別化ができるという。楽しみの余韻のあるデザインが望ましいと思う。

新しい子供服と、最近、クローズアップされ出したキャリアウーマンのファッショントに共通点が多くある。機能性があること。カッチリとした

丈夫さ、シンプルで知的であることや、服からの解放、常に自由でいたいことや、プラス・ワン、によってその服の表情が変わること等、まったく同じである。

子供達は、その自分の可愛

らしさや、美しさを意識しない。

あまり気がついていない。そして主

張は、はつきりする、そんな彼等のために、好意を持ってデザインすることは、本当に楽しい。

6月のある日曜日、気の合った仲間と子供も交えて、ごくごく近くの、カナディアンアカデミーのすぐ横の、溪流伝いにハイキングに出かけた。二十分位行った所に手頃な場所が見つかったので（きれいな、せせらぎ、信じられない位、きれいな谷川なのである）そこに陣どって、火を炊き、ご飯を炊き、ジャガイモをベーコンで巻いたのをアルミ箔につつんで火の中にもり込み、フランクフルトや、玉ねぎ、おなすを長いクシにさし、ジュウジュウ、パーベキューにして、肉をアルミ箔につつんで金アミで焼いた。ホカホカの少し焦げたご飯と、少々炭

化したのや、ガジガジしたのも、谷川の流れ、山の空気の中で食べる味は格別である。そしてデザートには、木いちごが両手に、いっぱい！甘ずっぱくて、さっぱりしていて、最高のデザートだ、子供達は、キツ、キツ、喜んで木いちごを、ほおばっている。そして最後に、ブラックコーヒーと、しゃれた。

少し振りに時間を気にしないで、のんびり過ごした楽しいひと

ときでした。そして、その気になる仲間がいることは、楽しいことである。

イラストも筆者



★篠原順子さんは……

田中千代学園を出て婦人服や子供服の専属デザイナーとして活躍中。現在は子供服専門メーカーキムラタンへ週三回出勤。二児の母にはとても見えない若々しい容姿と感覚の持ち主。このたび日本ファッショニラスト展に初出品で入選、会友に推荐されるという快挙をなしたげたスーパーレディです。次回もお楽しみに……

●ファッションレポート

T.D.6.のショウを観て



T. D. 6. の'76年秋コレクションの松田光弘と金子功のショーを帝国ホテルで観た。松田(ニコル)は140点の作品。白、グレイ、紺のラメ地、シルクのようにドレスシイなものからマニッシュな毛系統まで幅広い素材、ヴァリエーションに富んだショーを展開。特にマダムニコルと紳士物に挑戦していたのが印象的。金子(ピンクハウス)は80点。女らしいフェミニンな黒を主

にしたドレス展開。大人っぽいオーソドックスな線をねらっている。素材はシルクが多い。

ともに「自分達がやっていたものより大人の女の人のための服づくりをしたいし、流行に関わりなく、女らしさをデザインの基調としています」と。他に、花井幸子、「山本寛斎、稲葉佳枝、コシノジュンコのトップデザイナー6人のショーだが、今のモードの流れの中にそれぞれの個性を発揮していたが、花井、金子さんがいい線。<藤本ハルミ、国中富樹子、松浦房子さんのショー感想>

★アートサロン「かぶと・れしす」誕生
今年の初め音楽の好きな人たちの集い神戸楽友協会が生まれ、その第1回の催しが六甲の神戸学生センターで開かれる。その名はアートサロン「かぶと・れしす」(コーディネイター 山腰直弘)。音楽や美術やファッション等をアーティストを中心に聞いたり、見たり、だべったりする肩のこらない若い人たちの集いです。定員100名。

★第1回 7月21日(水)
ゲスト 酒井忠政(ピアニスト) 嶋本昭三(造型作家) 浦野敏彦(デザイナー・K.F.S.会員) 青木孝義(作曲家)

★第2回 8月5日(木)
ゲスト 金昌国、甲斐道雄(フルート奏者)

K. F. S. 総会のお知らせ

7月21日(水)

午後6時30分より ¥3,000

所/カリーナ<明治生命ビル地階>

パーティ立食スタイルで開きます。気軽にお立寄り下さい。

★K. F. S. メンバーによる P. R.

室内を演出する
神戸装飾 株式会社

神戸市生田区中山手通2丁目64ノ4
三宮販売部 Phone (331) 0557

神戸もともち

大丸

Phone 神戸(078) 331-8121

ミセスのための婦人服

Vert ヴェール

伸和スタイル株式会社

神戸市葺合区生田町3丁目17
Phone (241) 8691

チョコレートの

モロゾフ株式会社

神戸市東灘区御影中町6丁目11番19号
Phone (851) 1594

コウベセスンで創る婦人靴
株式会社

TUKASA ツカサ

神戸市長田区細田町5丁目2ノ28
神戸化学センター5F Phone (691) 7739

株式会社 阿曽理容店

神戸営業所 神戸市葺合区浜辺通5ノ2ノ1
神戸商工貿易センタービル11F
Phone (251) 3010

株式会社 理容アソ

大阪市北区小松原27 富国生命ビル1F
Phone (331) 2214

オートクチュール

マーガレット

藤本ハルミ
神戸市生田区三宮町1丁目29
Phone (391) 1134

オートクチュール

アトリエ・ヨシコ

中島嘉子
トアロード・クロスビル Phone (321) 2268

★神戸ファッション市民大学OBによるグループ
 <神戸のファッション都市化をめざす>

K.F.S. news 10

事務局/神戸市生田区元町通2丁目37村田ビル
 デザインルームナカハラ内 TEL 391-4768

★6月のマンスリーサロンより

創造力と集中力

望月 美佐



私は4人兄妹の長女で、^{大分県}韓国の^{大分県}山にあった料理旅館の“望月”で生まれ、芸者衆の出入りの中で、芸者遊びが非常に好きで、宴会のあるのを外から眺めては、芸者部屋に入り浸っていたんです。

喉が渇いてカンザマシを飲んで足がふらつき、3階から1階迄落っこちていらいのお酒づきあいなんです。

この好奇心と、負けず嫌いな性格は育った環境からだと思います。

書を初めてやることになったきっかけは、韓国から引き揚げてきたとき元町で女学生時代のお友達に出会ったんですよね。戦後間もなくだったのに彼女はとてもおしゃれな格好をしているし、私は引揚者の格好でお話をして住所を彼女が書いてくれたら文字が大変きたないのに驚いて、これはひよっとしたらお習字をお稽古したらいいんじゃないかと思いついた。それではとす

ぐ“ちぐさや”さんへ行って書のいい先生はいらっしゃいませんかと尋ねたら、安東聖空先生、西谷卯木先生、出口草露先生のお名前をきいて、近くだった出口先生に手ほどきしていただいた訳です。21才のときのことで、思いつくと好奇心が湧いてすぐ実行しはじめるところが私らしいといえます…。今年、私は童年ですが、15.6年前日展へ初入選したら、肩書きは一度につきし新聞には騒がれるで、その一週間一ぺんに字が書けなくなりましたよ。それからは自分との格闘ですね。

書は一回きりのアートですから、同じものは書けない。だから自分の力を過信しないで、いろんな出逢いを大切にして、体験のくり返しの中からつかんできた虚々々々のバランスをその一瞬に賭けるんです。

あるとき1カ月間300枚全紙を書いて練復を重ねて完全な作品にしようと思ったけれど書けない。

それで宝塚、塩尾寺へ登って、朝早く、山の水で墨をすり、書きました。

1カ月間かかった作品とお寺で書いた作品を、みんなにみせると、お寺で書いた方が、字はまずいけれど良いといってくれます。

それで、これは技術だけではだめだ書には精神力が必要なんだと気が付いたのです。

本は知識であって、それを読んだからいい作品が書けるわけでなく、体験



昭和に
生きる書をと
望月さん

の中から、人のしないことを勇気をもって創造することが大切だと思います。

書には伝統があります。それはとても尊い。エジプトの遺跡、正倉院の宝物など気が遠くなるほど素晴らしいものがある。しかしこの消費の時代に何があるのか。私は昭和の中に生きているのだからこの人々にアピールする、生活の書を書きたい。色とデザインを考え装いの書、くらしの書、心の書と、物質文明の中に、精神性こもった書でうるおいの豊かさを提供しようと思うのです。

お酒のむおかげで、色んなステキな人との出会いがありました。人間の出逢いは、その場その場で無尽蔵の楽しさがあり、その中から瞬間にかける精神的な集中力で、昭和に生きる“書”をつみ重ねて、人間望月美佐として生きてゆきたいと思います。

二頁の絵本
ガラスのサカナ

第一話

絵と文・岡田 淳



ばしゃああん――

汚れきった運河の横に、大きなガラス工場がありました。このガラス会社の社長さんの一人娘が、足をすべらせて、運河に落ちたのです。

「たいへんだ!!」

「おじょうさんが河に落ちたぞ!!」

みんなは、ロ々に叫んで河をのぞきこみました。けれど、まっ黒に濁った水の中には、もう女の子の姿は見えませんでした。

女の子は闇の中を静かに沈んでいきましました。すると、目の前に、

「水がまだきれいだった頃、

ぼくたちは楽しかった。

河がよごれはじめると、

友達も恋魚びともいなくなり

生来の丈夫さの悲しさか

ぼくだけ生き残った。

汚れた水を飲むたびに、

ぼくの身体は変わっていった。

ガラスの水を飲まされて



ぼくの身体は、ガラスになった。
こんなにきれいになりたくなかった。
ぼくはふつうのサカナだった。」

そう言って、サカナが目を閉じると、美しいガラス玉の涙が、音もなく沈んでいきました。



「あ、浮かんだぞ！」
「それ、助けるんだ！」
大きな網で、女の子は助けられました。そして、網の中には、世にも不思議な魚も入っていたのです。

「こいつはすてきだ。」
ガラス会社の社長さんには、ガラスのサカナは、宝石のように見えました。
さっそく家に持ち帰り、きれいな水そうに入れました。

次の日の朝、社長さんが水そうをのぞいてみると、きれいだっただけの水が汚れていて、サカナの姿は、どこにも見つかりませんでした。ただ、ま、黒に濁った水の底に、ガラス玉がひとつ、沈んでいました。

それを見て泣いたのは、女の子だけでした。



デパートこわい

竹田 洋太郎 在ニューヨーク へ え・たかはし もう



筆者



二人の中年男性が、会社からの帰途、近くのバーでマルチーニかなんか、一杯やりながら話している。

「君のところは子供さんも大きくなって手がからなくなっただけだが、奥さんはヒマをどうやって過ごしてるんだい？」

「それは多分、君の奥さんと同じだ」

「やっぱりブルーミングデールか」

「ライトノ」

こんなマンガがニューヨークの雑誌に出ていたような気がする。

さて、ブルーミングデールとは、59丁目、レキシントン・アベニューの角にあるデパートの名前。中年サラリーマンの奥さんの時間つぶしといえば、洋の東西を問わずデパートでのショッピングらしいですな。そして、このブルーミングデールは、数あるニューヨークのデパートでも、現代的でファッショナブルな店としてミセスやミズ（ウーマンリブから出た言葉だがMS・という雑誌は重役秘書その他、比較的高給をとる独身女性を対象としていろいろらしい）の間で評判。レモンイエローのこの店のショッピング・バッグをぶらさげて通勤するOL多数といったところ。

この夏休み、独立二百年祭を祝うアメリカへ出かける日本女性は多いだろうが、結局はニューヨークでお買物

というコースになるのでしょうか。この際、ニューヨークのデパート探険といくか。

ブルーミングデールはさつき申し上げたように、家具や食器類、タオル、シャワーカーテンなど、アツと驚く斬新なデザインのものがある。ついでにいうと、化粧品売場には資生堂のコーナーがあって日本語で買えます。

その南側、アレキサンダーはもともと大衆向けデパートだが、社長の奥さんがバリ・モードにご執心で、新しいイヴ・サンローランなんかのプレタポルテのイヴニング（ああ、口がくたびれた）が安くて手に入る。ただし色調はやや黒人の若い女性向き。

次に世界のファッションの一大中心、五番街にやっけてきて、北は57丁目のバーグドルフ・グッドマン。ここは六、七年前までは、日本人がはいるとウサン臭い顔をされたものだが、近ごろは日本人は世界の貴族（少くとも金使いの点では）だとわかって、日本人大歓迎。中年の店員さんが音もなく寄ってきて、品物をすすめる。ドレス、アクセサリーのたぐいも、やや中年向きの落着いたもの。最近ニューヨークで評判の高いスガのビュティーサロンがここに開店した。

そのすじ向かいにはティファニー。ここは本当のお金持ちだけが買っていくところだが、一千万円から上のイヤリング・ネックレスのセットなど、見るだけならタダ

であります。クリスマスカード、一枚一ドルくらいならセットで買える。

その南側は日本人観光客のメッカというところだが買って帰って自慢するための品物ならここ、グッチ。なおエルメスはティファニーの角を東へ行ったところにあります。

50丁目まで下がってサックス・フィフス・アベニューは背広ならまあサックスというくらい。女性のファッションをデイスプレーしたウインドウがたのしい。ことに日本人デザイナーの作品がときどき現われる。

40丁目にレーン・ブライアントという店があるが、これはまず日本人と無関係。私の家内がこの店にはいったら「あなたには用のない店だからサッサと出ていきなさい」

「ニューヨークは世界一恐いところだぞーッ」



い」といわれたという。理由は、この店すべてキング・サイズ、いや女性だからクイーン・サイズだな。ビッグ・アンド・ビューティフルな女性のための専門デパートなのである。

日本にもその名が知られている店といえば34丁目とブロードウエーのメーシー、ニブロック南のギンベルだろう。メーシーは世界で最大のデパートだといっていたが日本のターミナル・デパートを知っていれば、その大きさには驚かない。ただ、この二つは通路など広くとってあって、ゆっくり品物を見ながらブラブラするには最適。メーシーは十一月の感謝祭にブロードウエーの大行進のスポンサーとなる。ちなみに、ギンベルはフィラデルフィアの同じ祭のデパートのスポンサーをする。

そのほか、中規模のデパートとしては、B・オールトマン、ボンウイット・テラー、ロード・アンド・テラー（ここは婦人服に力を入れている）アブラハム・アンド・ストロースなど。以上のところなら、まずまちがいはありません。

これらはすべて、亭主どもが集って飲んでいる時の話題としては「国際共産主義の陰謀」（これは米国保守派の口ぐせだが）以上の恐い敵となる。

高級デパートでハンドバッグを買おうと、よく財布が持っているものだが、その中にまた、デパートなどのクレディット・カード、十枚もはいるカードホルダーまでついている。こうなると国際デパート資本の陰謀と思いたくなるではないか。女房どもは、そのカードホルダーに、ABC順だか、五番街の北から南への順だか知らないが、クレディット・カードをはさんで、朝の片付けが終ると、やおらお化粧して、服を着かえて、デパートへ「出撃」となる。

従って、この文章を女性が読まれて、ニューヨークへ行こうかしら、なんていったら、亭主もしくは父親は、「ニューヨークは世界一恐いところだぞーッ」とおどかすことをおすすめする。

遠長立見席

54



フランス人が動物を撮影した場合 『爪と牙』のこと

淀川 長治

△映画評論家▽

フランソワ・ベルとジュラルル・ピエンヌという五十才前後らしい二人……といっても画面にはいっさい出てこない……その撮影写真のスナップからそう思われる……この二人の一時三十八分の動物記録映画。

これを見て唸ってしまった。この二人はどういう人か私は知らない。それでも長篇短篇合わせてすでに十本くらい動物記録映画をとっているということだった。

題名は「爪と牙」。とくにライオンの爪と牙であった。ライオンが一番多い。なにが私として唸らせたかというフィルム編集とこの二人のカラード撮影とその構図がまるでアフリカ美術画に思えたからである。フランスのルソーの絵に「豹に襲われた黒人」という原始林の中の風景が描かれたのをこの記録映画で見ていると思いついた。この「爪と牙」には人間は一人も出てこない。そして夜が多い。南アフリカのケニアの動物たちの生態であるけれどフランス人のこの二人は生態というよりも(生きている彼ら)その(姿)をカメラで覗く。

闇の中に撮影のライトが照らされている。象が数頭そのまっくらな夜の中で池だか川だかの水を呑んでいる。鼻を下に落とし水を吸いこんで上に上げて口に運ぶ。象のその鼻のさきから水がこぼれ落ちる。それがライトで光る。動く長い鼻がすべて円を描いてリズムカルにライトの中で光るのである。

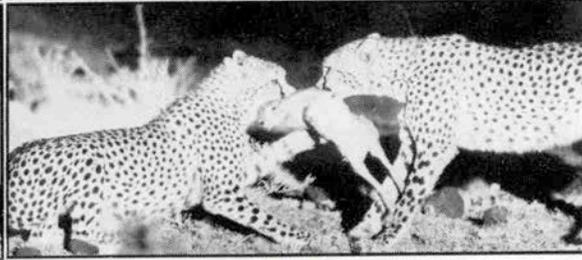
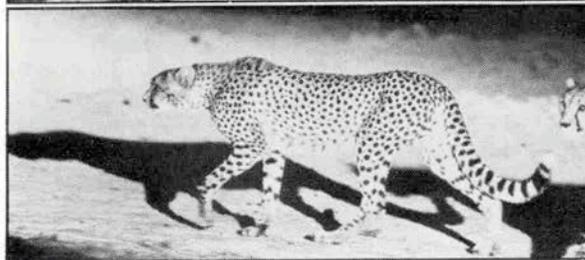
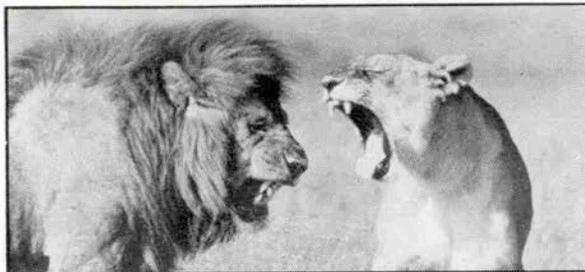
野性動物がどうして撮影隊のライトの中で自然に動いているのであろう。これか実は撮影者の二人がタンク・

カアの中で三日も四日も一週間も風呂にもはいらないで夜にライトを照らして暮らす。するといつのまにか動物たちは夜の闇の中のライトを月の光とでもまちがえたか平気でライトの照らしたあたりにまで近づいてくるのだということだった。

ホタルのむれが遠方から泳ぐよう何十何百匹もやってくる。近づいてくる。いよいよ近づいてくる。するとこれがホタルではなくアフリカ水牛の目だったのである。しかもそのカメラの手まへの闇の中に一頭のライオンを噴んで地面にひき倒した。水牛の目が青く黄色くチラと光つてもがくさまがこわかった。アフリカの夜である。ひるまは望遠レンズのすごいのをういたのかライオンの肌が指でさわられる近くに見えた。洋服の服地を見る思いでそれがフカフカと動いている。つまりライオンのいきづかいがその毛のやわらかな肌を動かしているのである。肌のすごいクローズ・アップだった。

こう書いてゆくと動物記録映画のいわゆる実像になるが、カモシカのシツポのピョンピョン動くそのリズムや細いハリガネのごとき足をこのカメラは絵に詩に感じさせる。

シマウマをライオン一家一族がむさぼり食うさまは残酷だ。まだシマウマの両足が動いているのを食っているのを見ていてつらい。そしてライオンは親も子も顔じゅう血だらけになる。足も血で真赤だ。そのとき母ライオ



フランス映画「爪と牙」の動物たち

ンが小さな子ライオンの顔や手についたシマウマの血を舌でペロペロとなめとってやることでとハツとなった。目の前のむごい残酷と目の前の母と子の愛の風景。

音楽は原始音とでも呼びたい打楽器がときどき強くやわらかく細やかに打ちひびくだけである。

カバもキリンもハイエナもがあるがまさに撮影されてその動物の顔つきが、その動物の性格を示す。ハゲタカが狐のえさを狙っている。狐なのか狼なのか私にはよくわからなかったが、その一匹がライオンの食べ残したのであろうか捨てられた肉と骨を噛んでいるあいだ、それをとりまくハゲタカの顔と黒い大きな翼と首をすえた大きなクチバシのその顔がまるで映画の悪役だった。

ライトに照らされたオス、ライオンの夜の闇の中のライトに光るたてがみの美しさ。木の上のチータ（豹と似た動物）のそのからだの美しさ。象も猿もが土を食べる。ミネラルの不足をこれでおきなうのだそうだ。

こう書いているとやっぱり動物の生態になっちまう。本当は動く美術画なのだ。

原野に遠く一本の木。その向うは灰色と黒色かさなつた雨雲。やがて黒い雲がふえだすと遠くその向う雲の中がピカピカと光る。音は聞こえない。ピカピカとまた光るここがまた美しい。やがて雷鳴が遠くにひびき雨がくるその前の風。ここで画面は変る。ディズニーの記録映画のように雨が洪水の流れとなり土にしみこむその自然の凶解は示さない。ひよいと見る、ひよいと見た目を釘づけにする。またひよいと別のところへ目を移す。そして太陽の中のアフリカ、夜のアフリカ、その中の動物の表情をとらえてゆく。動物のねむたげな表情、あくび。これがライオン、猿、その他の動物の顔をもつて見せる。象のオシッコ。キリンが足あげての喧嘩。それは愛のシーンかと思つたが喧嘩だった。そのエレガントなゆうゆうたる喧嘩。撮影二カ年。でき上り四〇時間のフィルムをついに一時間三十八分にまとめたという。フランス人の動物記録映画はやはり実にぜいたくなものであった。

女体百景

48

エッチ子供

文・細川 董^{ただ子}
え・浅野 俊一

そもそも、女は男より皆エッチだが、それだけに普通年頃になると、女は男と逆にそれをひたかくすものだ。

しかし、エッチ子供は、子供のように恥を知らずエッチな言動を発するが故に、細川流体相学では「エッチ子供」と呼ばれるのだ。

女類学的に見て、わが日本女族は、デカパイ、ペチャパイと區別してみたところで、古来草食族、西方の肉食女族と比較して、どだいオチチが在るといったしろものではない。

肉食女族は、ピンクに変色した乳頭部が段をなして乳房の上に小乳房の如くもり上り、その上に更に、乳首が突起している。

従って、わが大人の和女族は、いささかの例外はさておき、皆「エッチ子供」と総称し得るものなるぞ、

何故ならば、子供は、洋の東西を問わず、女といえども乳房なきを常とするが故である。子供の如き乳房をしながら、する事だけははするのが不思議だ。かくして、

特に「エッチ子供」と余が推賞する女族は、とりわけ、竹を割ったような体格と性格の持主をいうのである。小股が切れ上ったり、竹を割ったりとよくいわれるが、事あらためて切ったり割ったりしなくても女族は皆、あそこが切れたり割れたりしているものだ。そんなことはどうでもいい。もつと本質的な話をしているのだ。同じ竹を割るにしても、大は立派なもうそう竹から、名前はいかついがヒヨロヒヨロの熊ざさの類いまで、竹にも色々ある。

エッチ子供と称する女性には昔、借家でよく便所のそばで見かけたささ竹だ。便所ほどポピュラーな場所はないエッチ子供は、やせぎすで、男の子のようなسنナリした足をして、要は足の先から、頭の先まで細っそりしてささ竹そっくり、しかも全体から受ける感じは極めて庶民的なのである。目は三角のタレ目が多い。大人をからかうようなその目付は、タカのようにするどく、大人のエッチな心を見抜くが如く、一度しつとに狂えば、殺人も辞さぬという、殺人罪の女囚によくある目付だ。看守から聞いた話だ。

確かに、一たびどうかすると何をするか分らないような動物的な目だ。クールで狂気に満ちた目は、同じズン胴でも、無排卵のみみず女とは大違いである。

エッチ子供は、正にその名の示す如く、子供かと思えば大間違い、「タマタマ」「棒」「オシッコ」「メンス」……などと、男の私もいはばかる大人赤面の言の葉を、平気でのたまうのである。

「オシッコ」なんて言葉は、普通、若い母親が、小児のパンツをさげながらいう言葉である。それを妙れいの子小笹がいうのである。

「先生、ちよっとオシッコ行って来てもよろしいか？」などと、我家に余の原稿整理に來ているエッチ子供は、私の顔をのぞき込むようにいうのである。

実にアンバランスである。こっけい千万である。これこそ彼女をエッチ子供と余がのたまうゆえんだ。

余が、女子大の教師をしていた頃、助手のエッチ子供は、或時こんなことを言った。

「先生、私、生理になりましたので、旅行に付添って行くのやめさせていただきますよ！」

普通の女の子なら、かくして嘘をつくような事を平気でぬかすのだ。

「生理」とか「メンス」とかいう言葉は、若い女の子の禁句の一つだと思っていた純情な私は、その時、いたくショックを受けたものだ。

しかし、そんなことで驚いていては、エッチ子供とはつき合えない。

子供子供とあなどっていても、まだまだどんなショックを与えられるか知れたものではない。

実は、エッチ子供は手が早いのだ。何事も大人より子供の方がびんしようなのだ。

エッチ子供風にいわせてもらえば、彼女は股を開くの早いのである。



いざとなれば、あのことに当って、テキパキとやるのである。それだけ、男にもことの迅速さを要求するのである自意識過剰で、まごまごしている男を見ると、彼女は腹立たしくなって来るらしい。

「ホッペタの一つ二つぶんなぐっても、何故、あの時、私を奪ってくれなかったのかしら？」

と、本気で彼女は、私に訴える程だ。

お尻の小さくコリコリとした、頭のいかれた手の早い男の子が、若さにかまけて彼女に近づき、

「一発やるか？」

と、いうたなら、彼女は実にあっさりと陥落すること受合いなのだ。

実際、私の事務所の男の子で、女事務員達に、総スカンを食っていたのがいた。男として頼りない無才の青二才だったが、エッチ子供も口先では他の女の子と一緒に彼のことをボロカスに言っているが、陰では、私の知らぬ間に、二人が出来てしまっていたのを後で知らされて、私はびっくりしたことがある。その裏切りの早業は大したものだと私は感服さえした。

二人は結婚した。彼女は、

「先生、産児制限の仕方、手とり足とり丁寧に教えていただけませんか？」

と来た。私は出来るだけ具体的に彼女に教えた。その後久しぶりに会って、

「旨いことやっているか？」

と私が尋ねると、彼女は、おめず臆せず、

「ええ、やるもやらんも、やりすぎなんです。ふらふらです。彼の丸い小さなお尻、私大好き！」

と平然と答えた。

ああ、さすがはエッチ子供だけのことはある。エッチ子供は結婚しても、エッチ子供なのだ。その彼女が一年も経たぬ間に子供を生んだ。

△子供が子供を生むとはこれ如何に？▽

世は正に、子供が子供を生む時代なのであるぞよ！

北野町の坂道のほとりにある
目立たない小さなサロン神戸時代。

このサロンから
新しい時代の波を、と思っています。



壁面を利用しての神戸時代ギャラリー。
今月もバリからのポスター展など企画
いたしております。ご高覧をお待ち申
し上げます。

SALON 神戸時代

神戸市生田区中山手通1丁目28
モンシャトーコトブキビル1F
TEL. 242-3567



日本料理の店 妻さら

日本海直送の

活魚
料理

日本海でとれた新鮮な旬の魚を
直送便で……その魚を皆さまの
ご注文に応じて熟練の調理士が
盛りつけます。

お1人さま **3,000**
～ **6,000円**



日本料理の店



妻さら
ばさら
電話(078)321-6363

神戸・三宮阪急西口北側レインボープラザ1・2F

世界最高の品質を
誇るアラガワの支店

いろいろなパーティーを
ご予算に応じてどうぞ



レストラン

砂時計

9:00AM~9:00PM

ランチタイム

11:00AM~2:00PM

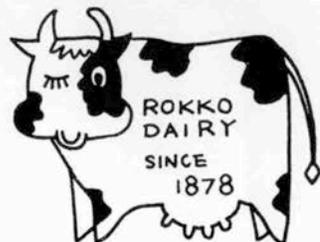
(年中無休)

生田区山本通1丁目35
東洋ハイツ1階

TEL 241-1857

フレッシュな味。
神戸生れの**六甲牧場**

★喫茶店・洋菓子店に!



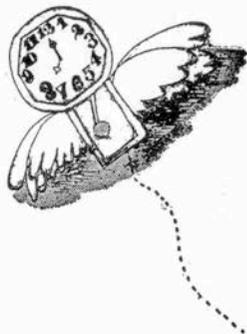
牛乳
生クリーム
ケーキ用クリーム
コーヒー用クリーム
各種アイスクリーム
ソフトミックス

**株式会社
六甲牧場**

神戸市灘区篠原南町 (078)801-6000
6丁目1-25 〒657

★ご用命しだい営業マンが直ちにお伺いします。

神戸百会
だより



★西武大津進出に

神戸の専門店も

関西進出に力を入れる西武百貨店(堤清二社長)が、六月十六日西武大津ショッピングセンターを、びわ湖をのぞむ膳所にオープン。話題を集めている。特にこの大津は、堤家の出身地とあって、思い切ったデ

ラックス版。江州商人の面目躍如。八十年代を先取りした郊外ショッピングセンター(八七階建、面積一二、九三二㎡は、菊竹清訓の設計で、一三〇〇台の駐車場と立体的なアプローチ、レジャー人口にフィットする眺望と、レストラン、また西武劇場も組み込み、ウエストビレッジなど迷路的なヤング向きの楽しいブティックもある。神戸からは、「風月堂」が一階に喫茶レスポワールを、「スギヤ」がアップルハウスを、二階には、「まさ」がレディスショップを。また「フナキ



左より堤社長、吉川(風月堂)社長、杉浦(スギヤ)社長、飯田(まさ)社長



風月堂の喫茶レスポワール



スギヤの杉浦社長さんを開んで(アップルハウス)

ラックス版。江州商人の面目躍如。八十年代を先取りした郊外ショッピングセンター(八七階建、面積一二、九三二㎡は、菊竹清訓の設計で、一三〇〇台の駐車場と立体的なアプローチ、レジャー人口にフィットする眺望と、レストラン、また西武劇場も組み込み、ウエストビレッジなど迷路的なヤング向きの楽しいブティックもある。神戸からは、「風月堂」が一階に喫茶レスポワールを、「スギヤ」がアップルハウスを、二階には、「まさ」がレディスショップを。また「フナキ

洗濯のきく上質の木綿地のワンピースには、くだもの、やさしい、ヨット等のアップリケが新鮮。輸入品も多くドナルド・デイビスの子供服やイタリア製のマタニティウエア、フランス製の玩具などとてもカラフル。どの子供服にもさすが神戸らしさが感じられました。



ファミリアオリジナルのワンピース

ヤ」がウエストヴィレッジに、ジーンズ中心のヤング店を出して変身している。百貨店と専門店、銀行など巧みに組みこませ、新しい魅力を発揮している。
★真夏の子供服にはシャレた木綿のワンピースが一番ファミリアが5月25日・26日の2日間、オリエンタルホテルに於て、真夏のお洋服とリゾートウエアコレクション」と題した展示会を開いた。会場にはサイズ別にずらりと新製品が並べられ、どれもファミリアならではのしやれたデザインと色あいのものばかり。

●ショッピングボックス
★さんぽラザ・センターラザでは6月26日から7月23日までサマールセールを実施します。期間中に住所・氏名を記入のうえ投票すると、抽選で12名(6ペア)に「種ヶ島旅行(旅費・宿泊費込)」が当たるプレゼントがあります。また一万五千円の金魚もプレゼントされますよ。
★オリエンタルホテルでは、7月24日(土)・25日(日)の2日間夏祭りを開催します。入場料は二千五百円で思う存分楽しんでいただけます。また25日は「メドロ&カプリシャスショーとランチ」を企画。正午にロビー集合の後、グランドランチを食べ、文化ホテルの特別席でカプリシャスのショーを観賞する「ジャッスな一日」をビクターは四千元。レディスクラブ会員は三千五百円の特別割引料金です。



★婦人服飾とおしゃれ小物のスギヤ阪急三番街店(06-372-4877)が、このほど改装オープンしました。新しいお店はメタリックなイメージでヤングにうけそうです。
★水着には定評のある三愛が六月十八日、ファッションパーク広場で「夏のファッションデート」ちょっとかわったファッションショップ」を開催しました。今年の注目目はゴールドストライプや、白と黒のモノトーン、無地では、グレー、ベージュなど焼けた膚に合うシックな色合や森英恵ブランドの高級品も。小物ではサンバインダーが定着し、かわいいビニールバッグやポシェットに人気が集まりそうです。